



漁港を利活用した海藻バンクによる ブルーカーボン生態系拡大プロジェクト

Project to Expand Blue Carbon Ecosystems
Through Seaweed Banks Utilizing Fishing Ports

カーボンニュートラル / ブルーカーボン / 生物多様性保全

Carbon Neutrality / Blue Carbon / Biodiversity Conservation

海藻バンクコンソーシアム(三省水工(株)、日建工学(株)、(株)アルファ水工コンサルタンツ、三洋テクノマリン(株))

概要・成果

ブルーカーボンを推進するため、漁港を利活用して大量かつ安定的に海藻を育成し、海藻移植用カートリッジと海藻育成用基盤ブロックを用いて周辺海域へ効率的に移植することにより、広域な藻場の造成と回復を実現する海藻供給システムを構築します。

海藻バンクは、ますます深刻化する海域環境の変化に耐えうる藻場の保全・造成を通じて、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブの拡大・推進、豊かな海づくり、地域や漁村の賑わい創出を目指しています。各地で藻場をまもり拡げていくために、今後もさまざまなステークホルダーと連携しプロジェクトを推進いたします。

導入効果

本事業では、2028～2030年度までに藻場面積：70ha、CO₂吸収量：399t以上／年、2050年度までに藻場面積：約250万ha、CO₂吸収量：1,435万t以上／年を実現します。

今後の展望

実証フィールド5地区周辺では、さまざまな海域(天然岩礁、人工構造物、沖合)への大規模な移植を実施予定ですが、近年は海水温の上昇による磯焼けの拡大が深刻化しています。そこで南方系ホンダワラ類など高水温耐性種の生産や、漁業者・自治体と連携した植食性動物(魚類・ウニ類)の駆除など、効率かつ効果的な移植を行います。

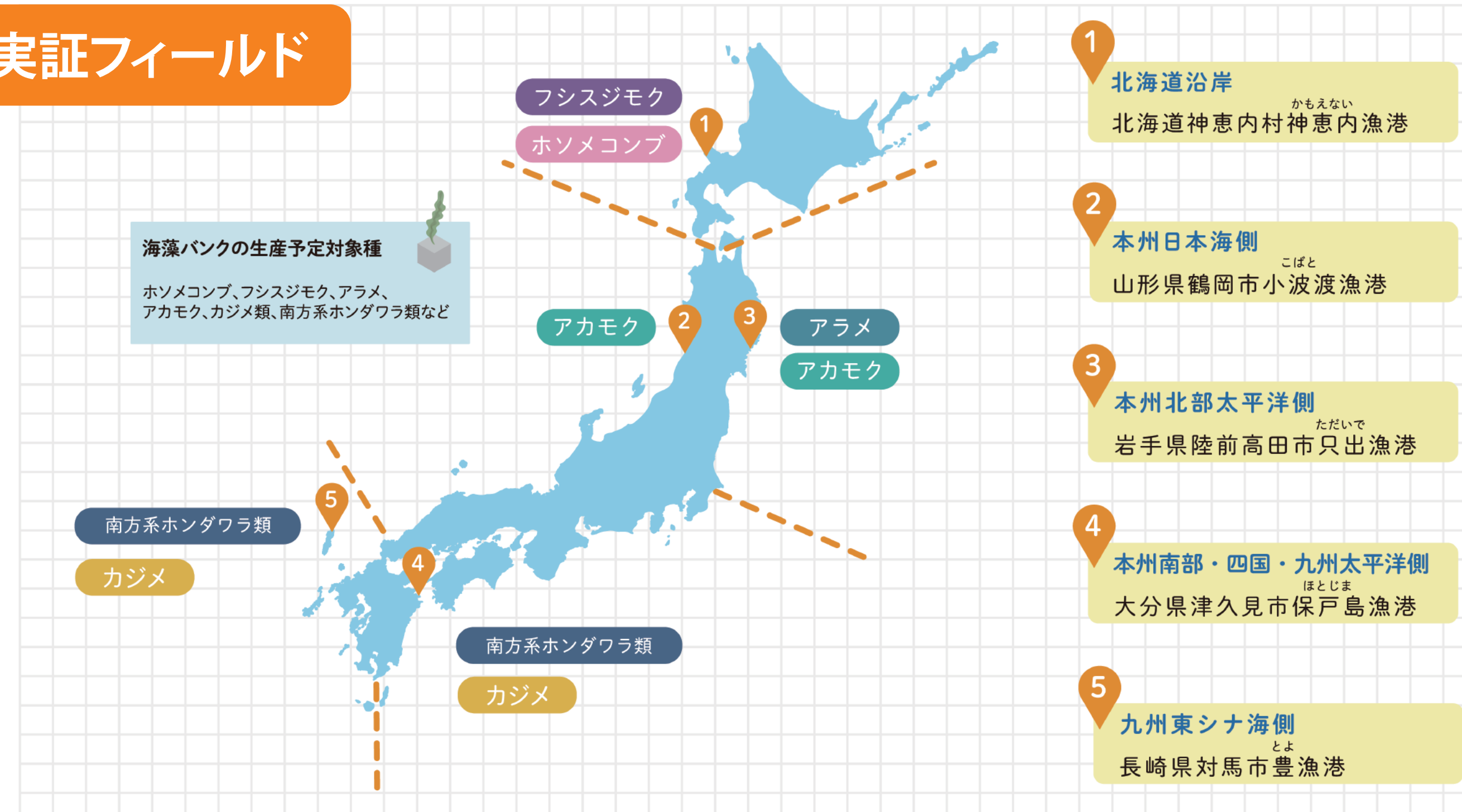
希望するマッチング先

水産振興(共存・共栄)を目指す洋上風力発電事業者、SDGs・ESG投資の評価および拡大を目指す民間企業や団体、ブルーカーボンクレジットの購入に興味のある民間企業や団体

システムフロー



実証フィールド



■ 種苗着生施設



保戸島漁港



只出漁港

■ 中間育成施設



籠式(食害ネット付き)



延縄式

NEDOプロジェクト名

NEDOグリーンイノベーション事業 / 漁港を利活用した海藻バンクによるブルーカーボン生態系拡大プロジェクト

お問い合わせ先

日建工学(株) 技術部 西村・吉塚
info@nikken-kogaku.co.jp 03-3344-6811